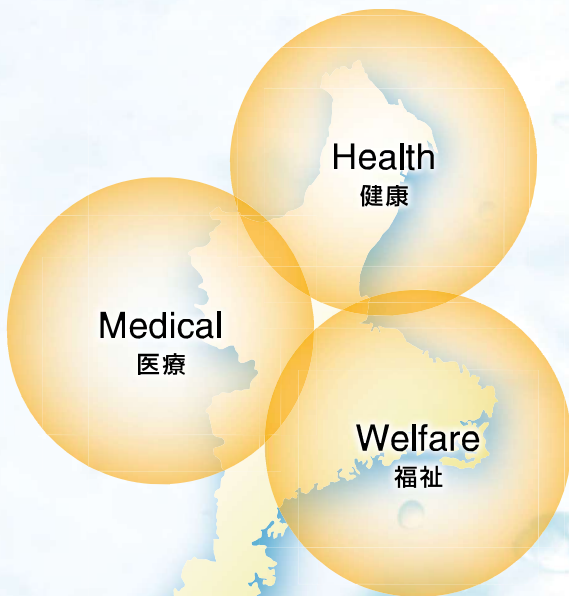


Medical Valley Project

みえメディカルバレー構想

三重県では、次代を担うリーディング産業の創出に向けて医療・健康・福祉分野の産業振興を進め、活力ある地域づくりと県民の健康と福祉の向上をめざして2002年2月、みえメディカルバレー構想を策定し、同年4月から事業を展開しています。



■ みえメディカルバレー構想について

みえメディカルバレー構想は、医療・健康・福祉産業を戦略的に振興することにより、三重県の地域経済を担う新たなリーディング産業の創出と集積を図るとともに、医療・健康・福祉に関連した質の高い製品・サービスを供給できる地域づくりをめざしています。

基本理念

地域資源を有効に活用し、競争力のある医療・健康・福祉産業の振興に取り組み、活力ある地域づくりと県民の健康と福祉の向上をめざします。

「産」代表者あいさつ



三重県薬事工業会 会長
田山 雅敏

三重県薬事工業会は、県内の医薬品製造業25社、化粧品・医薬部外品製造業11社、医療機器製造業13社の合計49社で構成されている県内唯一の薬事工業団体です。

当薬事工業会は『産』の代表として産業の力の重要性を認識し、それに基づき積極的にみえメディカルバレープロジェクトにおける事業を展開してまいりました。この間、当薬事工業会関連企業の立地や新たな分野からの参入、産学連携による製品開発や人材育成など数多くの成果が生まれ、多方面から注目を集めています。

みえメディカルバレー構想の成長期としてより一層の成果が問われる今、これまでに構築したネットワークを通じ各分野の方々の英知を結集することで、更なる発展をめざしていききたいと考えております。

「学」代表者あいさつ



三重大学 学長
内田 淳正

県内には独自性豊かな大学・高等専門学校があり、各部門で活発に研究活動が行われています。これらの機関がみえメディカルバレープロジェクトに参画し、『学』の立場として力を結集してきたことで、全国に例を見ない強固な産学連携体制が確立されています。

三重大学では医学部や附属病院はもとより工学部、生物資源学部、教育学部、人文学部、地域イノベーション学研究科まで全ての学部・大学院で多くのシーズを有しており、それらが医療・福祉現場や県民のニーズ、産業界の技術力等と機能的に結びつき、これまでに大きな成果を創成してまいりました。

今後も、産学官民で力を合わせることでライフイノベーションを推進し、県民の皆さんが成熟した社会の中で心豊かに毎日を明るく送ることができる三重県をめざしていきましょう。

「官」代表者あいさつ



三重県知事
鈴木 英敬

三重県は、多彩な産業集積や生産現場の高い技術力などを基盤として、ものづくりの拠点の一翼を担っています。平成14年2月に策定したみえメディカルバレー構想は、第1期実施計画、第2期実施計画を経て、平成24年度から第3期実施計画が始まりました。

この10年間で築きあげてきた産学官民のネットワークは、全国に誇れる非常に強固なものであり、まさに日本一の連携体であると考えております。

このネットワークを生かしつつ、更に進化させるため、今後はライフイノベーションの推進に力を入れてまいります。それにより産業・経済の活力が高まり、地域の雇用の場が確保され、みえメディカルバレープロジェクトから生まれた製品やサービスが県民の皆さんに活用されることで、日本一、幸福が実感できる三重の実現をめざします。

■ みえメディカルバレー構想 実施計画について

平成14年2月に「みえメディカルバレー構想」を策定し、平成14年度から平成19年度までの第1期実施計画を「立ち上げ期」、平成20年度から平成22年度までの第2期実施計画を「基盤整備期」として基本方向に沿って、産学官民が連携して活動してきました。

みえメディカルバレープロジェクトで構築した基盤を更に充実・拡大し、今後は県民の健康と福祉の向上につながる製品やサービス等が継続的に創出されるしくみを構築するため、平成24年度から平成27年度までの第3期実施計画を「成長期」として事業を展開していきます。



ゆめぼりす伊賀クリエイトランド

■ 実施計画の推移

基本理念

地域資源を有効に活用し、競争力のある医療・健康・福祉産業の振興に取り組み、活力ある地域づくりと県民の健康と福祉の向上をめざします。

第1期実施計画 立ち上げ期

基本方向

- 1 産学官民連携の促進
- 2 研究開発・技術開発の促進
- 3 創業・新事業創出の支援
- 4 企業誘致戦略の推進
- 5 医療・健康・福祉サービス分野の高度化と効率化
- 6 情報提供の充実
- 7 推進体制の整備
- 8 人材の確保・育成

第2期実施計画 基盤整備期

めざす姿

産学官民が連携しながら、それぞれが自立的な取組を展開するパートナーシップを維持し、そこから次々にイノベーションが生まれ、医療・健康・福祉産業が活性化されています。

基本方向

- 1 産学官民連携によるネットワークの充実・拡大
- 2 メディカル分野の人材の確保・育成
- 3 統合医療・予防医学を推進するための体制づくり
- 4 技術力向上・製品開発の支援
- 5 推進体制の充実

第3期実施計画 成長期

めざす姿

- 県内各地域で医療・健康・福祉分野の先進的な取組が行われ、産業が活性化しています。
- 医療・健康・福祉分野の産学官民連携の基盤を活用し、本分野で活用される製品やサービスが次々に生み出されています。
- みえメディカルバレープロジェクトで生み出された製品やサービスを県民が享受し、健康な生活を送り、福祉の充実につなげています。

基本方向

- 1 産学官民連携の充実
- 2 技術力・地域力の充実
- 3 みえライフイノベーションの推進
- 4 情報発信・収集の充実

■ みえメディカルバレー構想 第3期実施計画

めざす姿

- 県内各地域で医療・健康・福祉分野の先進的な取組が行われ、産業が活性化しています。
- 医療・健康・福祉分野の産学官民連携の基盤を活用し、本分野で活用される製品やサービスが次々に生み出されています。
- みえメディカルバレープロジェクトで生み出された製品やサービスを県民が享受し、健康な生活を送り、福祉の充実につなげています。

基本方向

めざす姿を実現するため、「産学官民連携の充実」、「技術力・地域力の充実」、「みえライフイノベーションの推進」、「情報発信・収集の充実」の基本方向に沿って事業を展開します。



産学官民連携の充実

みえメディカルバレー構想に基づき、産学官民連携体制を充実・拡大させ、強い産業構造を構築していきます。

そのために大学等との連携を深め、県内各地域の関係団体や異業種分野の参入なども促進します。

● フォーラム、セミナーの開催

- メディカルバレーフォーラムの開催
県内外の産学官民が一堂に会し、講演や交流会等の開催により情報の共有を図るとともに人的ネットワークを広げます。
- 地域セミナーや市民講座の開催

● メディカルバレー推進体制の充実

みえメディカルバレー構想を効果的に推進するため、産学官民関係者による推進体制の充実を図ります。



メディカルバレーフォーラム

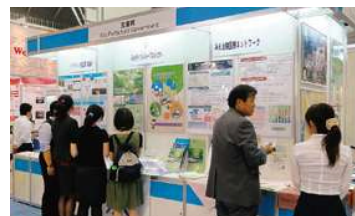


メディカルバレー推進代表者会議



情報発信・収集の充実

各事業の情報、県内地域の特色ある取組、先進的な事例やみえメディカルバレープロジェクトで生み出された製品やサービスなどの成果をホームページ、メールマガジン、情報誌などにより、積極的に発信していきます。また、各種展示会への参加や先進地調査等により医療・健康・福祉分野の情報を収集します。



展示会出展

● 総合的な情報の発信

みえメディカルバレープロジェクトに関する総合的な情報をホームページ、メールマガジン、情報誌、パンフレット等により提供します。

● 国内クラスター等の情報収集

国内の医療・健康・福祉分野の振興に取り組むクラスター等から情報を収集し、効果的な事業の推進に反映します。

● 海外との交流

海外の医療・健康・福祉分野における技術連携や共同研究、市場開拓などの情報を収集し、他地域における関係機関との情報交換を進めます。また、海外との大学間交流により、研究者や留学生の交流を促進します。

技術力・地域力の充実

医療・健康・福祉産業の更なる活性化のため、県内中小企業やベンチャー企業等の技術力、製品開発力の向上を図るとともに、大学等の強みや産学官民連携体制を活用して県内各地域の特色を生かした取組を充実させていきます。

また、大学等のカリキュラムやインターンシップ制度を活用し、企業や地域が必要とするスキルを習得した人材の育成と確保を図ります。



共同研究プレゼンテーション

●産学官民参加型研究会の開催

○みえメディカル研究会の開催

医療・健康・福祉産業分野での産学官民参加型の研究会を開催し、新たな研究開発・技術開発の促進をめざします。

●専門家による支援

医療・健康・福祉分野の経験豊かな人材をメディカルバレー推進サポーターとして委嘱し、技術支援や新たな製品やサービス等の販路開拓、販売促進支援などを実施します。

●みえ治験医療ネットワークの活用

三重県における治験を推進するため、みえ治験医療ネットワークの活性化、県民への普及啓発や治験協力者への支援を行います。

また、全国の治験ネットワークと連携し、情報発信・収集することにより治験の推進に寄与します。



治験啓発キャンペーン

●予防医学を活用した産業の推進

今後進展が予想される予防医学を広く県民に持続的に啓発していくため、予防医学に関連する住民グループや、医療関係者も加わったネットワークによる、三重県型予防医学に関連したビジネスモデル化を推進します。

●人材の育成

大学のカリキュラム等を活用し、地域が必要とする社会人のスキルアップ、大学院及び学部学生への起業家マインドの教育などにより企業が必要とする人材を育成します。また、県内企業と連携し、見学会やインターンシップ活動などを実施し、県内企業への就職を促進します。

●各種専門研修会等の開催

●オープンラボの整備

●福祉ものづくりの促進

●商談会・マッチングの促進

●共同研究の促進

●地域資源の有用性の研究

●技術移転、特許出願などの促進

●地域の特色を生かした取組



販路開拓勉強会



みえメディカル研究会



インターンシップ



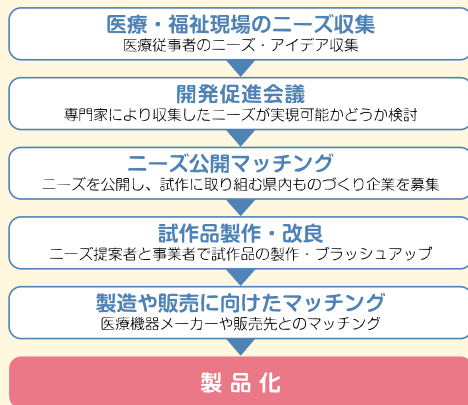
みえライフイノベーションの推進

みえメディカルバレープロジェクトでは、今後、質的・量的にニーズが拡大し、潜在的市場価値が高いとされている医療・健康・福祉分野において、県民の健康と福祉の向上につながる製品やサービスが次々に生み出されていくしくみを構築し、みえライフイノベーション*の推進に取り組みます。そして、本分野の企業の経営基盤の強化や異業種分野からの転換、企業誘致などを促進します。

●医療・福祉機器等の研究開発・実用化の促進

医療：福祉現場で必要とする医療機器：福祉用具やサービス等の開発のしくみを構築し、製品開発を促進することにより、医療・福祉産業の活性化を図ります。また、医療・福祉環境の改善を図るとともに、県民に提供する医療技術の高度化、高齢者・障がい者の生活の質の向上をめざします。

事業の流れ

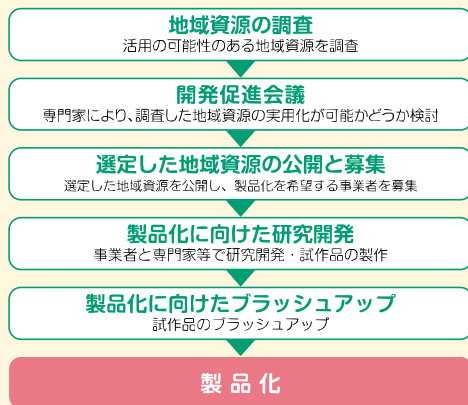


ニーズ提案者とのものづくり企業のマッチング

●地域資源活用型医薬品等の開発の促進

県内地域資源を有効活用し、付加価値の高い医薬品、医薬部外品、化粧品及び特定保健用食品やえん下困難者用食品等を継続的に開発するしくみを構築し、地域産業の活性化を図ります。

事業の流れ



地域資源の現地調査の様子

- 付加価値の高い食品等の開発の促進
- 健康増進プログラム等の開発の促進
- 健康ツーリズム等の促進

- オーダーメイド医療・健康を支える基盤の創出
- 研究コンソーシアムによる研究開発促進

*ライフイノベーション

医療・健康・福祉分野で、新しい技術や考え方を取り入れて新たな価値を生み出し、社会的に大きな変化を起こすことをいい、革新的な医薬品、医療機器、医療・介護技術等の研究開発の促進や関連産業の活性化をめざすものです。

みえメディカルバレープロジェクトのあゆみ

平成13年度	<ul style="list-style-type: none"> 三重県工業研究所に医薬品研究センターを設置 みえメディカルバレー構想策定
第1期（立ち上げ期）	
平成14年度	<ul style="list-style-type: none"> みえメディカルバレー推進事業の開始 みえメディカル研究会発足 メディカルバレーフォーラムを開催（以降毎年度開催） みえテクノエイドセンターを設置 医療・健康・福祉分野欧州派遣調査団を派遣（スウェーデン、デンマーク、ドイツ、イギリス）
平成15年度	<ul style="list-style-type: none"> メディカルバレー新機軸展開事業の開始（バイオ産業・治験活性化事業） ドイツバイオメディカル産業ミッション団を派遣（ジェットロLL事業 平成17年度まで継続） NPO法人みえ治験医療ネット設立 三重大学キャンパスインキュベータ竣工
平成16年度	<ul style="list-style-type: none"> 関西バイオ推進会議への参画 ドイツ・ピオコンバレー訪問団来県 メディカルバレーとピオコンバレーとの協力協定締結 みえメディカルバレー創成計画・同創成特区が地域再生計画・地域構造改革特区に認定 日経バイオビジネス誌の全国バイオクラスターランキングで5位（平成17年6位、平成18年4位）
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> みえメディカルバレー知的財産活用促進事業の開始 東海バイオものづくり創成プロジェクトとの協働体制確立 第1回日独再生医療カンファレンスを三重大学で開催 中国上海China Pharmへの出展と中国上海・南京訪問団の派遣（平成18年度まで継続） 三重県内のバイオベンチャー企業20社に
第2期（基盤整備期）	
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> 大学等におけるバイオメディカル系人材育成支援事業の開始 第2回日独再生医療カンファレンスをロストック大学で開催
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> 大学等における新学部・地域拠点支援事業の開始 三重大学と鈴鹿医療科学大学との包括協定締結 全国バイオクラスター交流会への参画 中国南京・瀋陽地域にミッション団を派遣（ジェットロRIT事業 平成20年度まで継続）
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> 鈴鹿医療科学大学に薬学部を設置 みえメディカルバレー構想第2期実施計画策定
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと雇用再生特別基金事業による企業活性化支援事業の開始 三重大学大学院に地域イノベーション学研究科を設置 産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」（三重大学産学官伊賀研究拠点）の開設 中国瀋陽・本溪地域にミッション団を派遣（平成22年度まで継続） 三重大学と瀋陽薬科大学との「学術協力・交流に関する一般協定書」並びに「学生交流に関する一般協定書」締結
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> 中国遼寧省食品薬品监督管理局技術審査センター職員3名来県 地域治験ネットワーク連絡会議を三重県で開催 三重大学医学部附属病院に統合医療鍼灸外来の開設 全国バイオクラスター交流会を津市で開催
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> みえライフイノベーション推進事業の開始 尾鷲セラピスト養成講座を開講 タイに薬事産業ミッション団を派遣

みえメディカルバレープロジェクトの主な成果

産学官民の新しいネットワークやものづくりを生み出す基盤の構築により、様々な成果が出てきています。



■みえメディカルバレープロジェクトの構成メンバー



[事務局]

〒514-8570 三重県津市広明町13番地

三重県健康福祉部薬務感染症対策課

TEL : 059-224-2331 FAX : 059-224-2344

E-mail : yakumus@pref.mie.jp

メディカルバレープロジェクトホームページ
<http://www.mvp.pref.mie.lg.jp/>

みえ福祉用具産業支援ネットワークホームページ
<http://www.fynet.pref.mie.lg.jp/>

医薬品安全情報提供システムホームページ
<http://www.medsafe.pref.mie.lg.jp/>

三重県薬事工業情報提供システム(PIIS)ホームページ
<http://www.piis.pref.mie.lg.jp/>